

部 局	都市経営部	補 職	部長	氏 名	中尾 栄一
-----	-------	-----	----	-----	-------

1. 部局の使命

○基本政策および総合計画の実現に向けて、市長のトップマネジメントの補佐および全庁的な総合調整を通じて政策推進を統括する。
○経営戦略方針に基づき、広報戦略およびデジタル・ガバメント戦略を推進するとともに、変革と多様な主体との共創により、新たな価値やサービスの創出を進める。
○自助・共助・公助の相互連携を基盤として、危機事態においても迅速かつ的確な初動と継続的対応を可能とする体制を整備することで、市民の安全と安心を守り、持続可能な都市経営を支える。

2. 使命を遂行するための取組み方針と、それに基づく取組みの総括

方針	取組みの総括
社会環境の変化・動向を的確に把握し、機動的かつ柔軟に施策に反映させるとともに、財源・人材・情報等の資源を有効活用し、従来の手法にとらわれることなく、市民が変化を実感できるまちづくりを進めます。 （１）都市の価値を高める経営戦略の推進 都市経営の視点に立ち、将来を見据えた変革を進め、戦略的に取組みを推進し、豊中に暮らすことへの市民の誇りと愛着を育みます。 （２）多様な主体との連携による新たな価値創出 民間事業者や大学、市民活動団体など多様なパートナーとの共創を進め、新たな価値やサービスの創出に取り組みます。 （３）伝わる情報発信 必要な時に必要な情報を、わかりやすく届け、市民の理解と共感を深める情報発信を進めます。 （４）デジタル変革 使いやすく、わかりやすく、便利なデジタル施策を進め、市民サービスや仕事の生産性を向上します。 （５）災害に対する備えと高い対応力を備えたまちづくり 市民の安全・安心を支える危機管理の仕組みや機能の高度化を進めます。	【今年度末に記載】

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績			
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性		
1	都市の価値を高める経営戦略の推進【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】		
	(1)経営戦略会議や政策会議の運営を効果的・効率的に運営することにより、トップマネジメントの戦略的意思決定を支えます。急速に変化する社会情勢に柔軟に対応しながら、2026経営戦略方針に掲げる3つのプロジェクト・5つの変革を確実に実行します。また、政策課題に対する総合企画・調整・変革の推進や、新たな基本政策と総合計画の策定をはじめ、所管の各種取り組みの見直し・変革を進めます。				
	①【重点】次期総合計画の基本構想の策定（3月定例会議案提出）、基本計画素案のとりまとめ（3月）〔拡充〕				
	②【重点】新たな基本政策の策定（6月）、進捗状況の取りまとめ（3月）・公表（4月）				
	③【重点】2027経営戦略方針策定（9月）				
	④【重点】変革の取組みを強化する仕組みの検討・構築（8月）				
	⑤【重点】ウェルビーイング（幸福度）調査実施（6月～8月）、所得や雇用などを含めた属性分析（年内）〔拡充〕				
	総合計画				
	5-2-（1）公正で効果的・効率的な市政運営を進めます				
	基本政策				
	0				

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	多様な主体との連携による新たな価値創造 (1)多様な主体との連携・協力を戦略的に推進する体制を構築し、それを基盤として、地域課題や行政課題の解決を図り、質の高い行政サービスの実現につなげます。また、その過程においては、調査研究やデータ分析成果を施策立案・展開に的確に反映すべく、従来の枠にとらわれない新たな視点や手法を積極的に取り入れ、新たな価値の創出に取り組みます。 ①【重点】マーケティング組織設置の機構改革案作成(6月) [新規] ②【重点】公民学連携の取組み強化 ・社会実装化により重点を置いた仕掛けの検討・実施(公民学連携プラットフォームの活性化。7月) ③若者との共創 ・【重点】若者世代のまちづくり活動をサポートする「#若者チャレンジらぼ!」を実施 ④【重点】次代につながる市制施行90周年記念式典(10月) [新規] ⑤【重点】企業版ふるさと納税の獲得強化(年度目標:2億円以上) [拡充] ⑥【重点】外部人材の活用促進(各種専門領域) ・中間支援事業者選定(4月)、人材公募・選定(5月～6月) ・モデル事業の創出(年内) ⑦【重点】豊中にゆかりのある企業等との共創を促進(年内:実施内容の素案作成) ⑧都市政策の調査研究から政策立案に至るプロセス支援(通年) ⑨【重点】介護予防センターの見直し及び学校跡地活用など部局をまたがる大規模プロジェクトの総括(通年) ・全体調整、各部局の伴走支援を行う ⑩都市間連携の推進(通年) ・中核市市長会、NATS等による連携事業を推進	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	総合計画		
	5-2- (3) 多角的な連携に取り組みます		
	基本政策		
	41 子どもから高齢者までみんなが集える地域交流の場を創設	63	豊中にゆかりのある企業等との共創を促進
	69 マーケティング組織を新設	73	特定の専門スキルをもつ副業人材を積極的に活用

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	伝わる情報発信 (1) 外部専門人材の知見を活用した動画制作や記事執筆、SNS活用を進め、魅力的でわかりやすい発信をすることにより、市民に情報が伝わり、理解や共感、行動変容につながる広報を推進します。また、デジタル技術を活かして市民の声を効率的・効果的に収集する仕組みを充実し、分析と結果の庁内共有を進めます。これにより、市民ニーズや地域課題に速やかに対応し、サービスの質向上と市民満足度の向上に取り組めます。 ①【重点】新たな広報戦略の策定（6月末） ・マネジメントの仕組み（達成目標等の体系化）を構築 ②【重点】マーケティング組織設置の機構改革案作成（6月）〔新規〕 ・営業・広報専門官を配置（9月募集） ③外部人材の活用（動画制作およびホームページ刷新への助言指導。4月募集、5月選定） ・豊中への共感を呼ぶ情報発信（SNS・動画配信の強化） ④デジタルを活かした市民ニーズ・意見把握の仕組みづくり（7月補正予算、年度内構築）〔新規〕 ・若者の市政参画・意見表明のしくみ創設（9月） ⑤広報誌・HPの刷新検討・方針の作成（広報誌5月、HP9月）、リニューアル（広報誌R9・4月号～、HPシステム更改R10） ⑥総合コールセンターやFAQにおけるAI活用検討・導入の方針作成（3月） ⑦報道機関など外部メディアを通じた発信充実（通年）	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	総合計画		
	5-1- (1)	市政情報の発信・提供・公開を推進します	5-1- (2)
基本政策			
52	豊中の魅力・政策に共感する情報発信	53	営業・広報専門官を配置し、投資財源を確保
69	マーケティング組織を新設	71	デジタルを活かした市政参画・意見表明のしくみを構築

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	デジタル変革		
	(1) デジタルを活用し、プッシュ型通知の充実やオンライン完結の拡充により、情報提供や手続きを一体的につなぐサービスの充実を図ります。また、導入後の利用や定着までを見据えた総合的な推進により、市民の利便性や快適性を高めます。あわせて、AI等の活用により、マンパワーに依存しない業務変革を進め、公務の生産性向上と付加価値の高い業務への転換を進めます。 ① 新たなデジタルガバメント戦略の策定（6月）と全庁的な推進 ・個別計画への浸透、部局横断の総合調整による統括力の強化 ② 【重点】 大胆なAI活用の推進 ・AIエージェント検討・予算化（6月AI利活用推進チーム設置・7月補正）、年度内導入〔新規〕 ・職員の資料壁打AIの実証〔新規〕 ③ デジタルデバйд対策の見直し・充実 ・実施場所・回数拡大（25→35小学校区）〔拡充〕 ・エキスタと各校区のスマホ相談事業の再編など ④ 【重点】 デジタルサービスのポータル化・利便性の向上 ・プッシュ型サービス（プッシュ通知）の拡大（15件以上）〔拡充〕 ・xID連携の拡充（2件以上）による一気通貫サービスの推進〔拡充〕 ・公共施設予約システムの更改（ID連携・手続完結。R9・4月） ⑤ 次世代ネットワーク・基盤モデルへの対応 ・βモデルの検討・移行方針策定（9月） ・デジタル基盤・ICT端末の活用とクラウドバイデフォルトの徹底	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	総合計画		
	5-2- (2) デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます		
	基本政策		
	79 AI・ロボットなど最先端技術で地域課題解決・業務刷新		

当年度目標(当初設定)		実績		
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
5	災害に対する備えと高い対応力を備えたまちづくり	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】	
	(1) 平時から、地域における自助・共助の防災力と、公助としての危機対応力の充実・強化に取り組みます。また、避難所環境のさらなる改善や福祉避難所の確保をはじめ、デジタル活用や多様な主体との連携により、実効性の高い防災体制を確立します。 ① 危機対応能力の向上 ・【重点】地域防災計画改訂（3月素案・R9策定）、国民保護計画改訂（3月）〔新規〕、避難所運営ガイドライン改訂（3月福祉避難・ペット避難等の反映）〔拡充〕 ・【重点】危機管理センター及び既存システムの一元管理の仕組みづくり（設計・予算、R10開設） ・公助力強化：研修（4月～6月）、全市一斉防災訓練の充実（1月）〔拡充〕 ② 避難所環境の改善 ・【重点】備蓄物資等整備：シャワー・蓄電池ほか（9月） ・ペット同行避難の充実：ペット飼養場所確保（上半期）訓練（1月） ・福祉避難所の確保（1か所以上）（下半期）〔拡充〕 ③ 防災DXの推進 ・安否確認システム運用：全小学校区で実働訓練（1月）〔拡充〕 ・衛星通信サービス導入（9月）〔新規〕 ④ 企業・住民との共創による防災・減災支援の創出 ・トイレトラック導入等寄附の確保（目標額300万円） ・災害時連携協定の強化（合同訓練、協定1事業者以上）、自主防災組織の結成1校区以上〔拡充〕			
	総合計画			
	2-4- (1) 防災力の充実強化を図ります			2-4- (2) 犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります
	5-2- (4) 感染症や大規模災害等に対応できる体制づくりを進めます			
基本政策				
33	生活インフラ防災対策の強化	34	安否確認のデジタル化、避難に支援が必要な方を個別サポートするしくみを強化	
35	災害時の司令塔となる危機管理センターを整備			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	変革の推進	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1)2026経営戦略方針に基づき、全庁の” 変革の推進” をサポートするとともに、部内の変革の取組みを進めます。		
	①歳入の拡大		
	・企業版ふるさと納税獲得の強化（目標額2億円）		
	・クラウドファンディング実施（トイレトラック）		
	・マーケティング組織、営業・広報専門官の配置（9月募集）		
	②民間資源の活用		
	・外部人材の活用（総合計画・企業版ふるさと納税の冊子デザイン、動画制作、HP刷新）		
	・リバースピッチの開催、公民学連携プラットフォームの活性化		
	③戦略的な資産活用		
・学校跡地の暫定利用（旧野田小）、コミュニティ拠点施設の再編（庄内南・庄内西）			
・介護予防センターの発展的活用に向けた調整			
④DXの推進			
・「書かない窓口」のアップグレード			
・AIのさらなる活用に向けた可能性調査			
⑤事務のアップデート			
・契約事務の点検の徹底			
総合計画			
5-2-	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策			
73	特定の専門スキルをもつ副業人材を積極的に活用	74	民間企業や他の自治体と積極的に連携しレベルアップ

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など			スケジュール(工程)	
1	経営戦略の推進			・経営戦略 *経営戦略方針の策定【毎年度】 *経営戦略会議・政策会議の運営（通年） ・大型プロジェクトの調整・総括 *曽根駅前まちづくりの推進(R8～プロジェクトチーム設置) *学校跡地活用（旧野田小R8事業者決定）、第七中(R10支援学校開校)、庄内南小・庄内西小(R8から順次活用) *介護予防センター入居施設の発展的活用（R10～） ・各種計画の推進 *次期基本政策の作成（R8） *5次総合計画基本構想（R8）、基本計画（R9） *SDGs未来都市計画（R5～R9）	
総合計画					
	5-2-（1）	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます			
基本政策					
	41	子どもから高齢者までみんなが集える地域交流の場を創設			
2	多様な主体との共創の推進			・民間資源の活用 *副業・兼業人材活用制度（通年） *企業版ふるさと納税の活用推進（～R9） *企業との連携・協力体制の構築（通年） ・都市間連携の推進 *中核市市長会はじめ、様々な連携を強化 ・調査研究 *社会情勢や政策課題を踏まえた調査研究とその結果の活用 *くらしの豊かさ実感調査（R8）【2年周期】 *市制施行90周年記念事業（R8）	
総合計画					
	5-2-（3）	多角的な連携に取り組みます			
基本政策					
	41	子どもから高齢者までみんなが集える地域交流の場を創設	63	豊中にゆかりのある企業等との共創を促進	
	69	マーケティング組織を新設	73	特定の専門スキルをもつ副業人材を積極的に活用	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
3	広報戦略の推進 (1)デジタルや外部人材を積極的に活用し、市政への関心を高め、共感を得られるような広報を進めることで、自治の主体である市民との信頼関係づくりにつなげます。		・ 基盤づくり ＊次期『広報戦略』の策定（R8） ＊広報満足度調査（毎年度） ＊アウトリーチ広聴、デジタルアンケート実施・活用（毎年度） ＊外部人材活用 ・ コンテンツの充実 ＊「広報とよなか」リニューアル（R8事業者決定、R9・4月号～実施） ＊ホームページ（CMS）のリニューアル（R9事業者決定、R10実施） ＊市政参画を促進する新たな仕組みの導入（R9） ・ 動画配信の強化、SNSの使い分け強化 ・ マーケティング組織の新設、営業・広報官の配置（R8募集）	
	総合計画			
	5-1-（1）	市政情報の発信・提供・公開を推進します	5-1-（2）	市民が参画できる機会の充実を図ります
基本政策				
	52	豊中の魅力・政策に共感する情報発信	53	営業・広報専門官を配置し、投資財源を確保
	69	マーケティング組織を新設	71	デジタルを活かした市政参画・意見表明のしくみを構築
4	デジタル戦略の推進 (１) まち・サービス・行政のデジタル活用を推進し、豊中らしいスマートシティの実現に向けた取組みを進めます。		・ デジタル戦略の基盤づくり ＊次期『デジタル・ガバメント戦略』の策定（R8） ＊クラウド化の推進、ネットワーク再編（R11完了） ＊人材育成（外部専門人材の活用、人材育成プランに基づく取組み推進） ＊豊中版ISMSの運用（通年） ＊満足度調査（毎年度） ・ デジタルデバйд対策（スマホ相談会の充実（通年）） ・ スマートシティ実現 ＊プッシュ型通知拡大、ID連携基盤と各種アプリの連携拡大（R8～） ＊共感を得るデジタルサービスの提供（毎年度） ＊AI利活用、データ利活用の推進（通年）・各部局の取組みの支援（通年）	
	総合計画			
	5-2-（2）	デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます		
基本政策				
	79	AI・ロボットなど最先端技術で地域課題解決・業務刷新	80	AI副市長を導入

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
5	危機管理の強化		・地域防災力の強化 ＊避難所の環境整備 ＊地域・住民と一体となった全市一斉訓練の実施（毎年度1回） ＊各種システムの運用力向上 ※リスクロ（LINEを使用し被害状況・職員の参集状況の集計及び可視化並びに情報共有をするシステム）、避難所受付、安否確認、避難行動要支援者管理、防災無線 ＊行政の防災力強化施策の検討（R10危機管理センター・総合防災システム整備） ＊移動系防災行政無線の更新（R10） ・地域防犯力の強化 ＊見守りカメラの高度利用推進（R8～） ＊自主防犯活動支援策の展開（R8～）	
	（１）日ごろから準備や訓練を通して危機事態への対応力を強化するとともに、地域の防災力・防犯力の向上に取り組みます。			
	総合計画			
	2-4-（１）	防災力の充実強化を図ります		
	5-2-（４）	感染症や大規模災害等に対応できる体制づくりを進めます		
基本政策				
33	生活インフラ防災対策の強化		34	安否確認のデジタル化、避難に支援が必要な方を個別サポートするしくみを強化
35	災害時の司令塔となる危機管理センターを整備			